

令和4年12月27日

名取市と東北電力ネットワーク(株)との共同検針の概要について

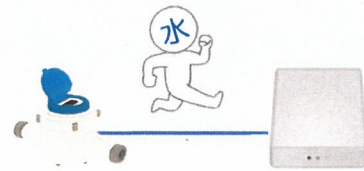
名取市(市長:山田司郎)と東北電力ネットワーク株式会社(本社:宮城県仙台市、取締役社長:坂本光弘)は、電力スマートメーター通信ネットワークを活用した自動検針に係る契約を締結し、スマート水道メーターによる水道使用量の自動検針を開始いたします。

1. 共同検針の概要

- 共同検針は、東北電力ネットワーク(株)の電力スマートメーター通信ネットワークを活用し、水道検針データを遠隔にて収集するものです。
- 既存の電力スマートメーターは、すでに自動検針を行っており、スマート水道メーターにも応用することで電力ネットワークを活用するものです。
- 将来的には、検針データの活用により「見える化・見守りサービス」を見据えたサービス展開の対応も可能となります。

つなげる

検針業務の効率化、IoT化
漏水の早期発見

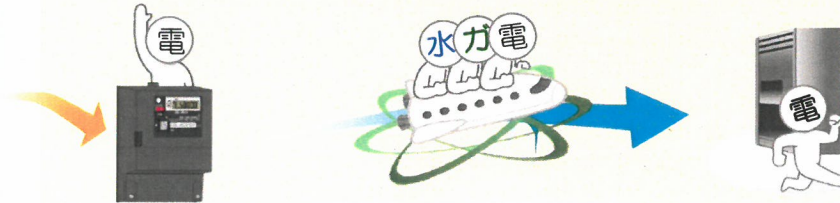


スマート
水道メーター

無線
端末

はこぶ

電気事業者は、自動検針や遠隔制御等を実施
コスト削減・業務効率化を実現



電力
スマートメーター

電力スマートメーター
通信ネットワーク

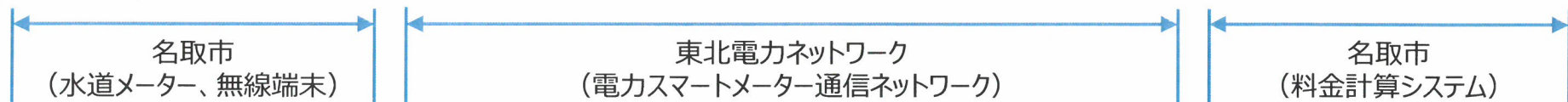
スマートメーター
システム

とどける

検針データ等を活用し、
見える化等へ応用も可能

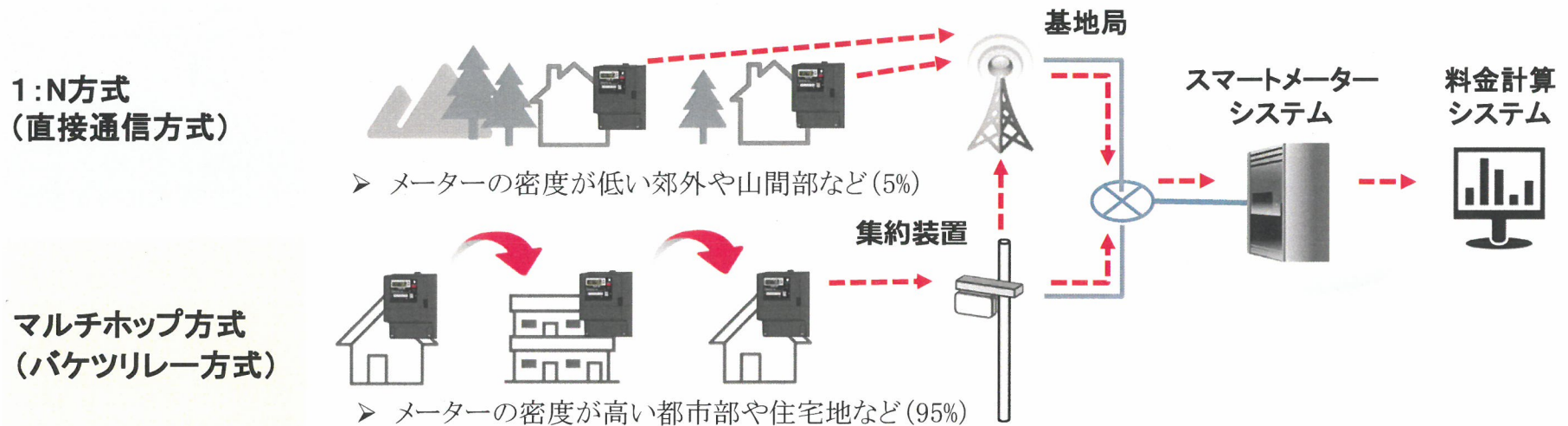


名取市
水道事業所



2. 電カスマートメーター通信ネットワーク方式

- 水道・ガスの検針データは「電カスマートメーター通信ネットワーク」を活用し、各事業者へお届けします。
- 電カスマートメーター通信ネットワークにおける通信方式は「1:N方式」と「マルチホップ方式」を採用しております。



3. 自動検針サービスの特長

- 電カスマートメーター通信ネットワークを活用した共同検針により、『安定、安心、安価』な遠隔自動検針の実現を目指します。

安定 通信品質の安定

- 最適な電波経路を自動選択するため、安定した通信環境が期待できます。
- 最寄事業所による迅速な現場対応が可能です。

安心 高セキュリティ

- スマートメーター専用の通信回線を使用し、暗号化も定期的に見直ししています。
- 24時間365日の体制によりウィルス検知、不正アクセス、システム障害を監視しています。

安価 インフラ資産の活用

- 管内全てに形成されるネットワークを活用し、安価な料金の実現を目指します。
- 共通仕様採用により、将来的な調達コストの低減が期待できます。

